

持続的成長を支える  
「競争力のある工場」づくりを推進

メキシコ新工場・中国生産ライン新設において、「シンプル&スリム」「フレキシブル」をキーワードに、伸縮自在ライン、床置き可能な小型設備のほか、コンパクトな塗装ブースなど、革新的な生産技術を可能な限り盛り込むと同時に、より安全で環境に優しい工場づくりに取り組んでいきます。



「もっといいクルマづくり」のための  
北米走破プロジェクト開始



トヨタの従業員が北米の道を走破するプロジェクトをスタートさせました。北米事業体の車両開発メンバーを含む140名の従業員が、6月24日から約半年間にわたり、北米大陸の厳しい道を走行する中で、テストコースでは得ることのできない「クルマづくりに生きるヒントの数々」を現地の道から学んでいきます。



新型シエンタを発売

フルモデルチェンジしたシエンタは、広く世代を超えてお客様のさまざまなライフスタイルをサポートする「ユニバーサルでクールなトヨタ最小ミニバン」として開発されました。スポーティーなエクステリアと機能性・質感を両立させたインテリアを採用するとともに、低床フラットフロアの導入により、3列目までゆとりある室内空間と、誰にでも優しい乗降性を実現しました。



技能五輪国際大会で  
金メダル2個を獲得

ブラジルのサンパウロで開催された第43回技能五輪国際大会に5職種5人の選手が出場し、2名が金メダル、1名が銀メダルを獲得しました。



人工知能研究開発のための  
連携研究センターを設立



米国マサチューセッツ工科大学およびスタンフォード大学と人工知能に関する研究で連携することに合意しました。両連携研究センターではクルマやロボットへの応用を目指し、さまざまな環境における物体の認識や高度な状況判断、人と機械との安全な相互強調などを実現するための研究を推進します。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

トヨタ・モビリティ基金 タイでの  
パイロットプログラムを選定

トヨタ・モビリティ基金(TMF)が行う最初の助成案件とした同プログラムは、バンコク市でもとりわけ渋滞問題が深刻なサトン地区を対象に、チュラロンコン大学と協働して、包括的な交通・渋滞管理プロジェクトに着手します。このプログラムを通じ、環境に優しく安全で快適な「真のモビリティ社会」の実現に向け、TMFは取り組みを進めていきます。

マツダと業務提携に向け基本合意

「クルマが持つ魅力をさらに高めていく」ことを念頭に、両社の経営資源の活用や、商品・技術の補完など、相互にシナジー効果を発揮しうる、継続性のある協力関係の構築に向け、両社は覚書に調印しました。今後、互いの強みを活かせる具体的な業務提携の内容の合意を目指します。これまでのハイブリッドシステム技術のライセンス供与や、マツダのメキシコ工場におけるトヨタ車生産などに加え、従来の提携の枠組みを超えて「クルマの新たな価値創造」に向けた中長期的な相互協力に取り組めます。



ビーチバレーボール部を設立

企業スポーツを通じた社内一体感の向上や、地域と密着したスポーツ振興の一環として、新たにビーチバレーボール部を設立しました。ゼネラルマネージャーには日本のビーチバレーボールの先駆者である川合俊一氏を迎え、現在の日本ビーチバレーボール界をリードする選手とともにチームを発足させ、今後は将来のトップ選手育成にも積極的に取り組んでいきます。



LEXUS 「LX」を新発売



SUVラインナップのフラッグシップモデルとなるLX570は、力強さとラグジュアリーが融合した内外装に加え、トルクフルなV8・5.7Lエンジンやドライブモードセレクトの採用など、オンロードからオフロードまで安定したドライビングを実現しました。